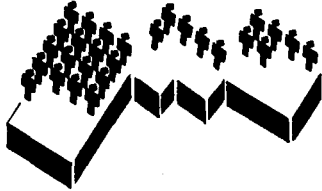


知的所有権は米国が強く提唱しているところであるが、これがどのような影響をもたらすのかが問題の焦点であった。研究の結果、「知的所有権」という道具を駆使した「知恵の戦略」にふりまわされていることが判明した。日本がこれにどのように対処すべきかは今後の課題であろう。



会員近況

中村 善太郎 慶応義塾大学

もう何か月前だったのだろうか？ たしか本誌であったと思う。産業界の方々が大学の教員と共同研究をされようというとき、大学側の産業界の現場の実情に関する知識が古過ぎて困るということが指摘されていた。多くの大学教員の中には、無論、幅広い最新の知識をおもちの方々もあろうが、少なくとも私の場合はあたっている。よく知っていることも無論あるが、ごく限られた範囲である。毎年大勢の学生を産業界におくりだす理工学部の教員としては相済みぬことと思っていた。

とはいえ、反面において、日進月歩する今日の産業界の新技术全般に通じることは、実際問題としてきわめて困難である。努力して現場を見学させていただくようにはしているものの、本務もきわめて多忙である。一方、工場現場は各地にちらばっている。ウンと頑張ったところで、1日に2社までしか訪問できるものではない。新聞・雑誌、特にこのごろでは企業が発行する技術誌等も大いに参考にはなるが、記事は大概局部的な話題に関するものだから、全体を見渡すには、よほど多くに目を通さなければならない。

ところで、見学にうかがうと、大概の会社では現場への案内に先だって、その工場の概要を説明する映画やビデオを見せてくださる。それぞれ、かなりの費用をかけて作られたものと見え、力作が多い。騒音のひどい現場ではせつかくの説明をときとして聞き取れず、もどかしい思いがするものだが、こういう映画やビデオのおかげでずいぶん理解しやすくなる。それに、危険な場所や空中撮影など、通常では望み得ぬ角度からの映像を見せていただけることもある。

たとえ現場を拝見できないまでも、こういう映画やビデオを見せていただくだけでも、知識はずいぶんふえ

る。こう考えた私は、2～3知り合いの会社の方々に、そのようなものがあつたら、ビデオの形でご提供願えないだろうかと伺ってみた。厚かましいお願いにもかかわらず、多くの会社の提供をうけることができ、昼食後などに学生ともどもみせていただいている。特に、外国からの留学生の諸君などには好評である。

時間的にも経済的にも、なかなか工場見学の余裕がつくりにくいのだが、もともと日本で勉強する目的の1つは、日本の産業のありさまを少しでも多く見ることなのだから。

会員計報

大野良雄氏 ㈱資生堂 取締役社長

昭和62年7月12日(日)午後3時20分、東京女子医大病院にて、肺炎のため逝去されました。享年51才。
謹んで御冥福をお祈りいたします。

会合記録

IAOR委員会	7月1日(水)	6名
理事会	7月3日(金)	18名
編集委員会(OR誌)	7月6日(月)	9名
普及小委員会	7月13日(月)	3名
副会長会議	7月20日(月)	6名
会員増強委員会	7月22日(水)	4名
編集委員会(OR誌)	7月31日(金)	9名

第2回理事会議題

(62.7.3)

1. 第1回理事会議事録の件
2. 各委員会等からの報告
 - (1) 研究普及委員会
 - 春季研究発表会
 - 第18回シンポジウム終了報告
 - OR企業サロン
 - (2) 編集委員会
 - (3) 国際委員会
 - IFORS会議の件
 - IFORS視察団の件
 - (4) 会計幹事会
 - 昭和62年度第一四半期収支計算

- (5) 創立30周年記念事業委員会
 (6) F M E S (経営工学関連学会協議会)
 • 3学会連合シンポジウムの件
3. 委員委嘱の件
4. 入退会の件
 5. 職員就業規則の件
 6. 本部事務局人事の件
 7. その他

入退会

入会(正会員)

青木祐一郎 日本電気㈱
 東 徹 関西航測㈱
 猪原 正守 大阪電気通信大学
 岩瀬 英之 ㈱竹中工務店
 大城 建夫 沖縄女子短期大学
 岡村 誠 帝塚山大学
 加藤 哲也 東京学館高等学校
 柄沢 浩幸 ㈱望星薬局
 岸本 徹 日本電気㈱
 桑畑 暁生 ㈱電力中央研究所
 国領 和夫 ㈱現代企画社
 斉藤 公明 名城大学
 高山 尚文 ㈱オギノ
 武元 英夫 東北大学
 武野 秀樹 九州大学
 田中 雅康 東京理科大学
 槌屋 治紀 システム技術研究所
 永島 敏秀 日立電子サービス㈱

橋本 暢 鹿島建設㈱
 早川 隆久 黒崎窯業㈱
 廣政 幸生 北海道大学
 北條 宗男 埼玉大学
 堀 雅裕 ㈱鈴丹
 堀口 雅己 ㈱望星薬局
 真辺 純裕 新日本製鐵㈱

(学生会員)

青柳 真樹 東京大学
 伊藤 房雄 北海道大学
 川窪 裕和 法政大学
 山本 浩樹 法政大学

(賛助会員)

日立化成工業㈱

退会(正会員)

秋本 学, 石神康亘, 白石晃久,
 広水好伸

移動(学生→正)

赤壁 弘康 大阪府立大学→
 神戸学院大学
 木谷 忍 東京工業大学→

帝京技術科学大学
 高塚 博昭 産業能率大学→
 ㈱リコー
 樽本 元 近畿大学→
 日本科学技術研修所
 広田 裕司 京都大学→
 ㈱QUICK
 安田 義郎 九州大学→
 久留米大学

復活(正会員)

神澤 等 日本大学

増口

東京瓦斯㈱ 1口→2口

「お詫びと訂正」

7月号掲載の入退会・移動欄に誤りがありましたので、お詫びして次のおり訂正させていただきます。退会者に古川長太氏を掲載は誤り。移動に坂井節子大阪大学は甲子園大学の誤り。

編集後記▶「AIの推論とOR」ということで、現在の推論技術の最先端の話題をピックアップして、特集しました。少々むずかしい話になったかも知れませんが、少しでもOR技術との接点が見えれば幸いです。このAIの特集に当っては、エキスパートシステムを特集しようという案もありましたが、この辺の話題に関しては、書物も最近多く出ていますので、それを参考にしていただくことにしました。また、本誌におきましても、今後、

色々な特集のさいに、AIを応用したアプリケーション事例も積極的に取り入れていきたいと考えています▶一方、AIに対する批判的な意見も寄せたのですが今回は実現できませんでした。しかし、書評のコーナーで、飯島氏に「純粋人工知能批判」という本を紹介していただきましたので、興味のある方は読まれてはいかがでしょうか。(S)

オペレーションズ・リサーチ

昭和62年9月号 第32巻 第9号 通巻321号

代表者 吉山博吉

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル
 (電話 03-815-3351~2) 〒113

編集人 山田善靖

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 850円(郵送料含) 年間予約購読料 9800円(郵送料含)

●本誌への広告お申し込みは明報社(571-2548)、日経弘報社(583-2241)へ